

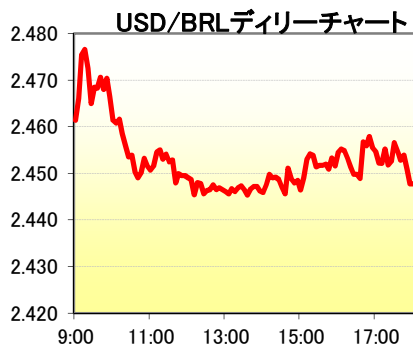
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

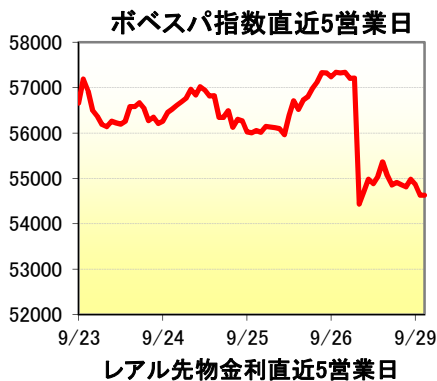
			9月22日	9月23日	9月24日	9月25日	9月29日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.3980	2.4120	2.3830	2.4280	2.4480	+0.0200
	USD/YEN	Spot	108.82	108.88	109.04	108.74	109.48	+0.74
	EUR/USD	Spot	1.2848	1.2847	1.2781	1.2750	1.2686	-0.0064
	BRL/YEN	Spot	45.38	45.14	45.75	44.79	44.73	-0.06
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.0370	1.0790	1.0180	1.0880	1.2020	+0.11
		1Year(p.a.)	1.3270	1.3390	1.3450	1.4070	1.5810	+0.17
	Real Interest	6MTH(p.a.)	11.12	11.11	11.09	11.12	11.26	+0.14
		1Year(p.a.)	11.62	11.56	11.49	11.57	11.83	+0.26
Stock	Bovespa		56,818	56,541	56,824	55,962	54,625	-1,337
Bond	CDS Brazil 5y		159.39	154.17	153.00	161.00	177.64	+16.64
	Global 40		109.200	109.175	109.100	109.450	109.050	-0.40

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FGVインフIGPM(前月比)	0.32%	0.20%	-0.27%
FGVインフIGPM(前年比)	3.68%	3.54%	4.89%
CNI Consumer Confider	--	109.7	108.3



3. 要人コメント

ブラジル中銀	インフレ圧力は弱まって来ているが、インフレ率は依然として高水準で金融政策運営には警戒が必要である。レアル安と世界景気回復の早まりはブラジル経済をサポートする。
--------	---

4. 市況、トピックス

- 本日の為替相場はUS\$1=R\$2.4620で寄り付いた。
- 早朝に発表された、中銀によるアナリスト予想調査では2014年のGDP成長率が0.30から0.29%に18週連続で下方修正される一方、2015年のGDP成長率見通しは先週から不変であった。インフレ率見通しは小幅上方修正され、2014年末の為替レート予想は2.35から2.34へレアル高方向へ修正された。
- 週末の香港での民主化デモを受けて、リスク資産売りの流れから為替市場は新興国通貨が全般的に下落した。レアルは先週末の水準から400ポイント以上レアル安方向で寄り付くと、オープンからレアル売りが殺到し、本日の安値となるUS\$1=R\$2.4780を示現した。この水準は2008年12月以降、約5年10ヵ月振りの水準。CDSも急上昇した。
- レアル売りに巡っては介入警戒感もあり反発し、急落したボベスパ指数が下げ止まったことを受けて、2.45越えまで値を戻した。更に米8月中古住宅販売仮契約数が予想を上回るマイナス幅となると、ドルが弱含み、レアルは本日の高値となるUS\$1=R\$2.4420をつけた。
- 結局US\$1=R\$2.4480でクローズした。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。